

県立中央病院連携室だより

-ともに歩む地域医療-

Vol.32

●発行月 平成30年4月
●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL019-653-1151 (代)
●URL <http://www.chuo-hp.jp/>

《地域医療連携推進の基本方針》

1. 顔の見える連携
2. 地域連携パスと逆紹介の推進
3. 紹介患者の迅速予約と優先診療
4. PHSによる Dr.Direct Call
5. 24時間救急受け入れ体制
6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進
7. 高額医療機器の共同利用推進
8. 地域医療研修センターの利用の推進

施設間連携で地域の医療を守る – 新年度院長交代のご挨拶 –

岩手県立中央病院長 宮田 剛

平成30年4月から望月泉前病院長の後任として病院長を拝命いたしました宮田剛と申します。病院長が変わりましても当院の果たすべき役割はこれまでと変わらず圏域の高度急性期医療であり、盛岡市内、岩手県内の医療機関のご期待に応えられるよう体制を整えてまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて今年度の診療報酬改定では、少子高齢化社会の進む社会で、高齢者の在宅での生活を支える「かかりつけ医」の役割を重視しながら、急性期病院でも、入院時から退院や地域での生活を見据えたケアを行い、多職種がかかわって高齢者の生活環境を整えていくシステムの構築を推し進める方向性が一層強く示されています。

私は4年前当院に赴任した際に、当地は病診連携、あるいは病病連携がよく取れていることに驚いたことを思い出します。救急を含め他院からの紹介を積極的に引き受けること、そのために空床を常に確保しておくことに全力を挙げる院内体制と、治療後の転院を快く引き受けてくださる他院との関係です。消化器センターの例を挙げると、毎週月曜日に他院から紹介のあった20～30例の患者さんについて夜遅くまで治療方針、その治療をいかに早く行うかを消化器内科、消化器外科、がん化学療法科、放射線科が担当ナースとともに検討・決定していきます。地域連携コーディネーターの専任看護師が精力的に他施設との橋渡しにエネルギーを注ぎ、医師会にも院長、副院長が参加して顔の見える連携を心がけています。お互いにお互いを知りながら「よろしくね」「了解です」「ありがとう」とお互いに言える関係性は、なんと素晴らしいことでしょうか。この状況を維持できるように努力してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻、そしてご協力をお願い申し上げます。なにかお気づきのことがあればご遠慮なくご連絡ください。すべてを改善の種としていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



心臓血管外科のご紹介と最近の治療の進歩

心臓血管外科長 小田 克彦

心臓血管外科長の小田克彦です。いつも貴重な症例をご紹介いただき、また、術後のリハビリやフォローアップをしていただき感謝申し上げます。

当科の開設は1969年に遡ります。県医療局の方針で施設乱立による手術成績低下を避けるため、県内で本格的に心臓血管外科手術を行っている病院は現在に到るまで一貫して2施設（岩手医大と当院）に限定されています。私が科長を拝命したのは2011年の震災の年でしたが、岩手県民のため手術成績を高いレベルで維持する使命を痛感し身が引き締まる思いでした。今も

その姿勢は変わりません。当科では、主に成人心臓血管外科を担当、虚血性心疾患、弁膜症、胸部・腹部大動脈疾患、先天性心疾患、末梢動脈疾患、静脈疾患等に幅広く対応しています。当科の手術件数は、ここ数年、緊急手術約80件を含め、年間約300件です。県民の命をお救いするため、迅速かつ的確な対応を心がけています。

心臓血管外科領域では、近年、画期的な治療法が続々と登場、有効性と安全性を確認した上で当科でも順次導入しています。その一つが心不全治療の進歩です。当科はさまざまな病態の心不全に対する外科的治療が可能で、当院循環器内科との緊密な連携のもと、岩手医大や各県立病院から重症心不全患者さんを受け入れています。また、県内で唯一、植込型補助人工心臓実施施設の認定を受けています。心不全患者さんのご紹介は、多様な治療手段を有する当院に速やかにお願いします。

また、大動脈解離という致命的疾患の治療は、ステントグラフトの登場で一変しています。大動脈解離には、心臓近くまで解離が進展しているA型と、心臓近くには解離がないB型があります。死亡率の高いA型は、従来から昼夜を問わず緊急手術を行って多くの方を救命しています。一方、B型は通常死亡率は低いのですが一旦重症化すると治療が困難でした。現在はステントグラフトで治療できる場合が増えています。大動脈解離の患者さんはA型、B型とも発症時から当院へすぐにご紹介ください。また、胸部・腹部大動脈瘤についても随時ご紹介をお受けしています。



最後にスタッフを紹介します。副院長の長嶺進、医長の河津聡と伊藤校輝、科長の私の4名で、全員心臓血管外科専門医です。レジデントは田林侑花（現在育休中）、大谷将之、小林公彦の3名です。心臓血管外科に関わる多職種連携も良好です。

岩手県立中央病院心臓血管外科を今後ともよろしく願いいたします。

登録医

ご紹介コーナー



今回は、盛岡市の『平野医院』をご紹介します。

平野医院は平成9年10月に盛岡市青山で開業してから、昨年で20周年をむかえました。開業当初より岩手県立中央病院への紹介患者数はのべ2,700人を超えました。特に大動脈・冠動脈疾患、急性腹症、中枢神経系疾患等救急レベルの重症患者搬送依頼の連絡をしますと、担当の先生にはいつも快く引き受けて頂き、毎回ありがたく感じておりました。実際に平野医院は岩手県立中央病院がなければ成りたないと思感しています。この場をお借りして、改めまして望月院長先生はじめ各診療科の先生、職員の方々に心より感謝を申し上げます。

地域医療に20年間たずさわっておりますと、開業当時、小学生が結婚し名字が変わり子供が生まれたり、また、60歳だった患者さんが80歳になり、その方々の人生ドラマの一部を共有しているような感覚になります。

日常診療を通じて、進学、就職、結婚、出産、離婚、子供の不登校、更年期の諸症状、夫の病気、会社の倒産など経済的問題、嫁姑の問題、親の介護等々幾つものライフイベントストレスで体調不良をきたし、受診する患者が多いことを感じております。特にリーマンショック後の経済不況は多くの方がメンタル不調を来しました。私は日本心療内科学会の会員ですが、自殺予防の観点から医療面接の時は『傾聴・共感・支持・保証』の基本を意識して診察しています。岩手県立中央病院には精神科がありますので、メンタル不調に器質的疾患を合併した患者さんを受け入れていただいております。貴院のリエゾンセラピーには大変ありがたく思っております。

また、高齢化に伴い認知症とともに、フレイルから介護予備軍が日々急速に増加していることを実感しています。高齢化に伴う大波に対して個人開業医一人ではどうしようも出来ません。平野医院では青山和敬荘地域包括支援センターや担当ケアマネの方々と情報交換、協議しながらお一人お一人に尊厳ある人生を送って頂けるよう心がけています。高齢者で溢れかえる待合室をみて、徐々に弱っていく患者さんを何とか廃用予防ができないものかと考え、平成26年に現在の盛岡市西青山二丁目に移転したのをきっかけに通所リハビリ部門を新たに開設しました。

岩手県立中央病院で神経疾患、整形疾患等治療された患者さんも、多数当院リハビリを利用されています。リハビリ部門も大変お世話になっております。実際、急性期病棟の入院患者さんの高齢化と増加に伴い、退院後リハビリが必要な方々が難民化の危機？とまでは行かないまでも、自宅退院後ADL低下傾向はみられます。平野医院リハビリ部門が、その方々のフレイル、廃用予防の一助になればとおもっています。

4月から診療報酬改定があります。これから病診連携、かかりつけ医のはたす役割が益々重要となってきます。岩手県立中央病院のご支援をいただきながら、より一層地域の方々に信頼される医療を提供していけるよう努力してまいりたいと思っております。今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



平野医院

院長 平野 繁 (ひらの しげる) 先生



平野医院

住 所	〒 020-0132 盛岡市西青山2-18-60						
電 話 / FAX	☎ 019-648-1395 / FAX 019-648-1396						
診 療 科 目	内科・泌尿器科・外科						
診 療 時 間	9:00~12:00	●	●	●	●	●	休
	14:00~18:00	●	●	●	休	●	休
休 診 日	日曜日・祝祭日						
入 院 の 可 否	否						



登録医ご紹介コーナーに登場して下さる先生を募集しております。地域医療福祉連携室にご連絡ください！

こんにちは！地域医療福祉連携室です！！

地域医療福祉連携室では、平成30年3月から当院外来診療棟1階に入退院支援センターを設置しました。

入院前・入院早期から患者さんに他職種で関わり、地域の医療機関、介護・福祉関連施設の皆様との連携を大切にし、患者さんが安全で安心できる療養生活を送ることができるよう活動して参ります。

入 退院支援センター

- 看護師3名が配置されています。
- 入院が決まった患者さんとその家族のなかで退院困難なリスクがある場合、入院前から入院生活の説明や普段の生活の様子、希望される退院後の療養生活についての不安増強などなく入院できるよう支援しています。
- 支援が必要な患者さんに入院早期から他職種が介入できるよう、入院予定の病棟看護師や関係職種と情報共有しています。

地 域連携コーディネーター

- 看護師が8名配置されています。
- 入院中の患者さんの退院後の生活場所に関する



治療上の不安・気かりについてなどのお問い合わせに対応しています。

- 患者・家族の外来通院における様々な問題に対して窓口となり多職種と連携して支援しています。

事 務

- 事務職員が9名配置されています。
- 24時間365日いつでも、紹介患者の診療予約を受け付けています。
- 院内外の連携業務に関する事務処理を担当しています。

医 療相談室

- 社会福祉士(MSW)が4名、看護師が1名配置されています。
- 医療費や生活費などの経済的なこと、仕事のこと、療養中の心配ごとについてご相談を受け、福祉サービスや各種制度利用をご案内しています。
- がん相談支援センターも兼ねています。

★ ★ ★ ★ ★ 県立中央病院イベント情報 ★ ★ ★ ★ ★

◆平成30年度 第1回 糖尿病教室◆
日時：平成30年5月30日(水) 15時~16時
内容：糖尿病とがん~実は危険な関係...！知っていますか？~
講師：当院 内視鏡科長/糖尿病専門医 赤坂 威一郎
会場：岩手県立中央病院 4階大ホール
※参加費、事前申込不要
糖尿病治療中の方やそのご家族、糖尿病の事知りたい方、
どなたでもご参加いただけます。
問い合わせ：当院 総合診療科外来(内2157)

◆第58回 岩手県立中央病院健康講座◆
日時：平成30年6月16日(土) 14時~16時30分
内容：『あなたは認知症をどこまで知っていますか？』
認知症を学ぼう
認知症の人の世界を知ろう
講師：当院 リハビリテーション科長 小田 桃世 他
会場：プラザおでつて(盛岡市中ノ橋1-1-10) 3階おでつてホール
※入場無料・事前申込不要
問い合わせ：当院 業務企画室(内2384)